



田空だより

なすの大地 第25号

2015年3月号（通巻第25号）
那須野が原西部田園空間博物館運営協議会 発行

○これって何の広報誌なの？

当誌は「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」の広報誌です。田園空間博物館とは、地域の自然や史跡、施設等を田園空間に広がる展示物（サテライト）に見立てた屋根のない博物館です。那須野が原西部地区では烏森神社、乃木神社、三島神社、太夫塚神社、槻沢遺跡、常盤が丘（ときわがおか）、接骨木（にわとこ）の一里塚などをサテライトとしています。

☆26年度の主な協議会活動内容

総会開催（5月27日）

サテライト清掃活動（5～6月）

会報「なすの大地」第24号発行（7月20日）

サテライト清掃活動（8～9月）

那須野が原公園にて、サテライト写真展開催（8月13日～20日）

サテライト見学会開催（10月4日）

駅からハイキング開催（10月5日）※JR東日本、西那須野観光協会と共催

西那須野産業文化祭にて、小学生サテライト絵画展開催（10月19日～20日）

那須野が原博物館フェスタにて、サテライト写真展開催（11月1日～3日）

なすしおばらまなび博覧会（初出展）にて、小学生サテライト絵画展開催（11月15日～16日）

県庁展示ギャラリーにて、小学生サテライト絵画展開催（11月21日～28日）

第11回那須野が原ウォーク開催（11月22日）

※那須野が原公園管理事務所、那須野ヶ原土地改良区連合、ハウライ株式会社、東京電力株式会社と共催

那須野が原博物館エントランスホールにて、小学生サテライト絵画展開催（1月15日～28日）

那須野が原公園緑の相談所展示ホールにて、小学生サテライト絵画展開催（1月29日～2月8日）



総会の様子

◎サテライト写真展

サテライト写真展を8月13日～20日にかけて那須野が原公園緑の相談所展示ホールにて開催し、夏休みに公園を訪れた方々に那須野が原西部田園空間博物館のPRを行いました。

田園空間博物館ではサテライトの散策を楽しめるように、10コースのフットパス（巡回ルート）を設けており、コース沿いには道標が設置されておりますが、今回は写真パネルの展示と併せて主要ルートの案内マップも掲示しました。マップの表には道順、裏にはサテライトの解説が載っています。

案内マップは、市内の西・三島・西那須野・狩野・大山・南公民館で各地域のものを配布しておりますので、是非ご利用ください。なお、横林・接骨木地区のマップについては運営協議会事務局までお問い合わせ下さい。



案内マップ

表

裏



◎第5回小学生サテライト絵画展

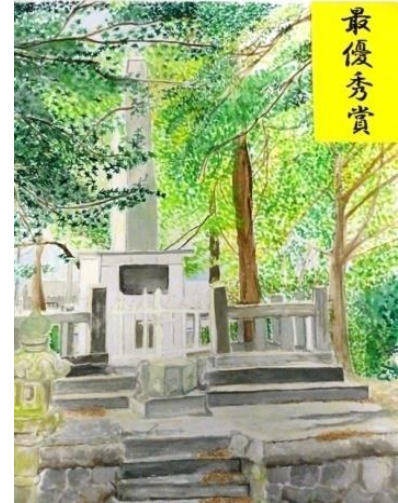
①優秀作品について

那須野が原西部田園空間博物館の対象エリアになっている西那須野地区の小学校と横林小学校の高学年の児童を対象にサテライト絵画の募集を行い、全校合計202点（三島4点、槻沢59点、東82点、南21点、西14点、大山12点、横林10点）の応募作品の中から、下記の優秀作品15点を決定しました。

5会場で絵画展を開催し、対象エリア内のコミュニティにおいても、地域の小学校の作品が公民館で展示されました。

最優秀賞

大山小学校 遠田 泰己さん 「大山公園」(右写真)



優秀賞 全14点

●三島小学校



「三島神社」
森 隆登さん

●槻沢小学校



「温泉神社」
林 佑里子さん



「温泉神社」
菅野 妃依さん

●東小学校



「疏水パーク」
大島 史菜さん



「神社」
田代 純也さん



「愛宕神社」
原田 友稀さん

●南小学校



「愛宕神社」
伏見 彰吾さん



「なんじゃもんじゃ」
伊藤 凜さん



「親王台」
梅原 咲太さん

●西小学校



「那須野が原公園とサンサタワー」
大森 なつみさん



「那須疏水水車」
大類 風花さん

●横林小学校

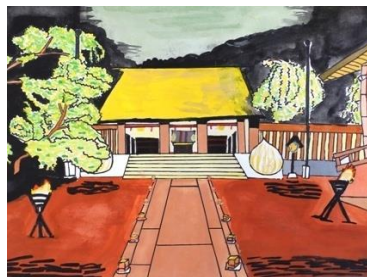


「横林の温泉神社」
北 源太さん

●大山小学校



「乃木神社」
緑川 綾桜さん



「夜の乃木神社」
森田 桃加さん

多くのご応募をいただき、
ありがとうございました。
次年度も第6回絵画展の
開催を予定しております
ので、ご期待下さい。

②絵画展の開催について

本年度の絵画展を10月に西那須野産業文化祭、11月になすしおばらまなび博覧会及び栃木県庁展望ロビー、1月中旬には那須野が原博物館エントランスホール、1月下旬から那須野が原公園緑の相談所展示ホールで開催いたしました。

なお、会場のスペースの都合で、なすしおばらまなび博覧会及び栃木県庁では一部作品のみの展示、那須野が原博物館では優秀作品のみの展示になってしまいましたが、産業文化祭及び那須野が原公園では全ての作品を展示いたしました。

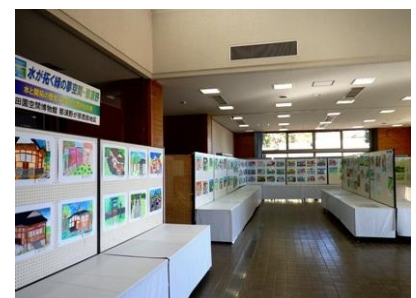
特に本年度は、前述のとおり市内の鹿野崎にある宇都宮共和大学那須キャンパスで開催されましたなすしおばらまなび博覧会（旧那須塩原市生涯学習振興大会）の会場で黒磯地区では初めての絵画展を開催いたしました。那須野が原西部田園空間博物館の対象エリアは、市内でも西那須野地区と塩原の接骨木・横林地区のみですが、市内全域にこの取り組みを周知するため、PR活動の範囲をさらに広げていきたいと考えています。



西那須野産業文化祭



なすしおばらまなび博覧会



那須野が原公園

③入賞者表彰式について

1月17日に田園空間博物館総合案内所（那須野が原博物館）の研修室において、前頁の入賞者の表彰式を開催いたしました。14名の入賞者と保護者の方に出席いただき、松本忠太会長より賞状と副賞が贈られました。また、表彰式終了後に入賞者の記念写真の撮影を行いました。



◎サテライト見学会

平成26年度のサテライト見学会を10月4日（土）に開催いたしました。

まず最初に太夫塚の**開拓苦難の石塚**を見学し、記念写真の撮影を行いました。この石塚は開拓の際に掘り起こされた石が積み上げられて塚になったもので、開拓者の苦難を物語る貴重な史跡です。

次に下永田にある**大山別邸**を訪れ、車窓より加治屋の**西郷神社**、一区町の**親王台**を見学した後、二区町の縦道沿いにある**ホタルの里**を見学しました。ホタルの里には遊歩道が整備され、初夏には地元の方々によって大切に育てられた数多くのホタルの光り瞬く姿を觀賞することができます。

その後は車窓から三区町的那須**疏水水車**、那須**開墾社第二農場跡**を見学し、千本松牧場の敷地内にある**松方別邸（萬歳閣）**を訪ね、優美な外観の洋館を見学しました。

見学後は那須野が原公園へ移動し、**サンサタワーの展望台**に登って那須野ヶ原を一望し、昼食を取った後、那須野ヶ原土地改良区連合の方に**赤田調整池**を案内していただきました。

次に横林の**会津中街道一里塚**を見学し、そこから歩いて**那須疏水蛇尾川サイフォン**出口に向い、蛇尾川をくぐって水が轟々と湧き出す**疏水の出口**を見学し、開削の苦勞に思いを馳せました。

一里塚に戻った後、西富山の**津室川湧水地**、石林の**乃木神社**境内を流れる**乃木清水**を順に訪れ、蒼く澄んだ清流と透き通った水の流れに沿って揺らぐ碧色の水草の美しさに心が洗われました。

最後に市役所西那須野庁舎の**時計塔の展望台**に登って市街地を一望し、見学会は終了しました。

来年も市広報等で参加者を募集する予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

なお、見学箇所は例年変更になりますので、ご了承ください。



開拓苦難の石塚



大山別邸



赤田調整池

◎サテライト紹介 「三島神社と赤田山」

田園空間博物館のサテライトである三島神社は、市内の三島にあり、那須野ヶ原の開拓に尽力した子爵三島通庸（みちつね）公を祀った神社で、初詣や秋の例大祭などで地元の人に親しまれています。

通庸公は天保6年（1835年）に鹿児島で生まれました。山形・福島・栃木県令（現在の県知事）や内務省土木局長・警視總監等を歴任し、現在の国道4号線や塩原街道を始め、山形・福島・栃木県の道路やトンネルを整備し、県庁や洋風市街地の建設等を行いました。

また、明治13年に那須野ヶ原の開墾に着手、「肇耕社（ちょうこうしゃ）」（後の三島農場）を設立して那須疏水の開削工事の支援等を行い、明治19年までに開墾地の大部分を入植者に分譲して永住させ、開拓地の道路を碁盤の目に整備し西那須野地区の発展に貢献しました。その他にも様々な大土木工事を推進し、東北地方の産業育成に努め「土木県令」・「建築県令」の異名をとりました。

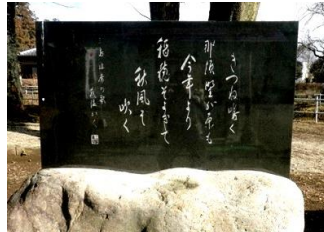
三島神社は通庸公が明治21年（1888年）に53歳で死去した後、地元住民と三島家の援助によりその偉業と功績を讃えるため、明治39年（1906年）に創建されました。

神社では昨年の10月12日に例大祭と合せて、通庸公の没後125年祭が開催されました。新米や吟詠・巫女舞が奉納され、境内は多くの人で賑わいました。また、記念の歌碑が建立され、通庸公の子孫の方々も出席して除幕式が行われました。

黒御影石でできた歌碑には「きつね鳴く那須野が原も今年より稲穂そよぎて秋風そふく」と通庸公が原野を前にして開拓への思いを詠んだ歌の一節が刻まれています。



三島神社



記念歌碑（三島神社）



母智丘神社



赤田山展望台

また、通庸公は那須野ヶ原の開拓にあたり、明治13年（1880年）に西那須野地区で一番高く、当博物館のサテライトになっている市内上赤田の赤田山の山頂に、五穀豊穰・開拓民の守護神として母智丘（もちお）神社を創建しました。当時、山頂から那須野ヶ原が見渡せたため、通庸公はこの山に登って、開拓の構想を練ったと言われています。三島神社と併せて白御影石の記念歌碑が建立され「神代より荒れし那須野を開きつゝ民栄えゆく里となさなん」と通庸公の歌が刻まれています。

現在は山頂までの散策路が整備され、神社の裏手には西塩水道の配水池跡を利用した展望台があります。例年年明けの1月1日には、地元の西コミュニティの方々によって山頂までの散策路や展望台がランタンで装飾され、初詣に幻想的な空間を演出しています。

どちらも那須野ヶ原開拓の歴史を語る上で欠かせない存在です。もし機会がありましたら、訪れて那須野ヶ原の過去に思いを馳せてみてはいかがでしょうか？

（取材協力：三島神社宮司 相馬 秀和 様）

◎所在地 三島神社：那須塩原市三島5丁目336番地
赤田山：那須塩原市上赤田238番地

◎第11回那須野が原ウォークについて

平成26年度的那須野が原ウォークを11月22日（土）に開催いたしました。

那須野が原ウォークは、那須野が原公園や千本松牧場の周辺のサテライトを徒歩で巡る催しです。昨年までは10月前半の3連休に開催していましたが、今年度は周辺の紅葉の最盛期に合わせて、11月下旬に開催時期を変更し、特にモミジの美しいスポットをコースに追加しました。

開催日には抜けるような青空が広がり、約100名の参加者が午前9時に公園を出発しました。

公園の正面ゲートを出ると、すぐに右折して那須疏水の上に架かる橋を渡り、普段通行できない千本松牧場への門を通して最初の目的地である松方別邸を目指しました。道沿いには紅葉している樹木が多く、別邸に近づくに連れて、その数と鮮やかさは増していきました。

周辺の紅葉に眼を奪われながら歩いて行くと、程なく別邸に到着しました。別邸は千本松牧場を開設し、当時の総理大臣も務めた松方正義公が建築した洋風2階建ての優美な外観の別荘で、別名「萬歳閣」と呼ばれており、その由来について解説員から説明を受けました。

庭園には見事なモミジがあり、また道路を挟んで向かい側には手入れされた紅葉の林も広がって、あいにく見頃を少し過ぎてはいましたが、周辺は見事な樹々の紅葉に包まれていました。

別邸の見学後、那須野ヶ原土地改良区連合の方の解説を受けながら那須疏水沿いの探訪の小径を歩いて発電施設等を見学し、小径沿いのウォーターパークでは東京電力の方から説明を受けました。

次に栃木県畜産酪農研究センターの敷地の中にあるモミジ並木を見学させていただきましたが、こちらの紅葉はまさに見頃を迎えており、道の左右に並ぶモミジ並木は燃え立つように赤く色付き、青い空の強い日差しに透ける葉は真紅のヴェールのようでした。またそのヴェールをまとった木々の背後には遙か遠くまで牧草地が続き、まるで大きな緑の絨毯を広げたようでした。

その後は赤田調整池で再び土地改良区連合の方の説明を受け、サンサタワーから紅葉に染まる那須野ヶ原を一望し、正午に公園でゴール。お楽しみ抽選会を経て、全日程が終了になりました。

来年度も同様に開催を予定しており、市広報等で参加者を募集致しますのでぜひご参加ください。

栃木県畜産酪農研究センター 紅葉並木

松方別邸周辺



那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

◇問い合わせ先◇

TEL 0287-37-5108（那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内）

◇HPアドレス◇

<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkku/>

※当誌は那須塩原市の公民館で配布しておりますので、入手を希望される方は各公民館までお問い合わせ下さい。